



さいがいじ 災害時のこと いっしょに きめておきましょう

こべつひなんけいかく 個別避難計画

- ・どこに^に逃げるか
- ・どんな^{とき}時に^に逃げるか
- ・だれがサポートするか
- ・^{じゅんび}準備しておくものは

～まずは **自分** の
避難計画をつくることから～



こべつひなんけいかく 「個別避難計画とは・・・」



さいがいじ かくじつ ひなん しえん ひつよう かた さくせい
災害時にあわてず、確実に避難するため、支援が必要な方に作成する
こべつけいかく さいがいたいさくきほんほう きさい
個別計画の事です。＜災害対策基本法に記載＞

けいかく
計画を

なぜつくるのか

だれひとり と のこ
(誰一人取り残さないために)

○いざという時のため、準備をしておきましょう

⇒どんなときに、だれに相談し、だれとどこに逃げるか決めておくことで、自分の命を守りましょう。

○防災について考えましょう

⇒個別避難計画をつくることを通して、自分ごととして、防災についての意識を高めましょう。

けいかく
計画に

かいておく内容

ひなんこうどう
(スムーズな避難行動につなげる)

○個別避難計画に書いておく内容は、支援する人などに知っておいてもらうべきことです

⇒逃げる時に配慮が必要なこと

・歩くときは、つえがいる

・音がきこえにくい

・持っていくお薬 など

⇒支援する人はだれか(団体名も◎)

⇒避難する場所、どの道を通るか

など

けいかく
計画を

だれと共有するか

かお み かんけいせい たいせつ
(顔の見える関係性が大切)

○個別避難計画をつくる時に関わった人たちで、計画を共有します

⇒関わる人たち(例)

・福祉専門職

・自治会 ・民生委員

・校区福祉委員会

・親族の方、近所の方

・東大阪市

・東大阪市社会福祉協議会 など

福祉専門職の関わり

けいかくさくせい しえん ふか けつ じんざい
(計画作成・支援に不可欠な人材)

○福祉専門職の方々は、心強い皆さんの支援者です

⇒福祉専門職(ケアマネジャー、相談支援専門員等)は、皆さんの身体の状況や生活内容を最も知っており、専門的な視点で判断できる人材です。

福祉専門職の方といろいろお話をしながら、個別避難計画をつくりましょう。

ひがしおおさかし
東大阪市

ふくし ぶ ちいきふくしつ ちいきふくしか
福祉部 地域福祉室 地域福祉課

でんわ 06-4309-3181 ファクス 06-4309-3815

Eメール chiikifukushi@city.higashiosaka.lg.jp